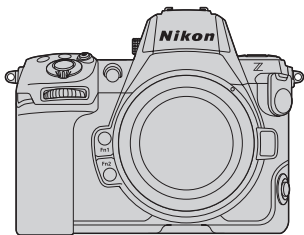
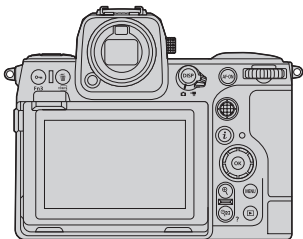


Nikon



Z 8 Professional

テクニカルガイド
-N-Log 用 3D LUT-



Jp

目次

LUTについて	3
● LUTとは	3
● N-Log用 3D LUTとは	4
N-Log用 3D LUTを適用する手順	6
● DaVinci Resolve のインストール	6
● N-Log用 3D LUT のダウンロード	6
● N-Log用 3D LUT を適用するには	7

本書について

本書は N-Log をご利用の方に向けた内容になっています。

商標

DaVinci Resolve は Blackmagic Design の登録商標です。Apple および Final Cut Pro は、米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。Adobe および Adobe Premiere は、米国その他の国で登録された Adobe Systems Incorporated の商標または登録商標です。

LUT について

● LUT とは

LUT とは「Look Up Table」のことです。入力した動画の色データを出力する場合に、どのような値に変換するかがあらかじめ設定された一覧表がプリセットデータとして用意されています。色データを調整する場合にこの表を参照し、表の設定値に従って R、G、B の各色を変換していきます。

入力に対して出力が 1 対 1 の LUT を 1D LUT と呼びます。R、G、B の各色に 1D LUT を適用する場合、色味や彩度の調整ができません。R、G、B の 3 つの入力値の組み合わせに対して、R、G、B の 3 つの出力値の組み合わせで参照する LUT を 3D LUT と呼びます。3D LUT を使用することで、画像の色味や彩度も合わせて調整することが可能です。

● N-Log 用 3D LUT とは

■ N-Log について

N-Logはニコン独自のLog曲線を用いたガンマカーブで、センサーダイナミックレンジを最大限に活用することを目的とした技術です。シャドウとハイライトのバランスに優れ、10ビットのムービー収録に最適化されています。

N-Logの撮影方法については、詳しくはニコンダウンロードセンターにある『Z8活用ガイド』をご覧ください。

<https://downloadcenter.nikonimglib.com/>

■ N-Log 用 3D LUT について

N-Log用3D LUTはカラーグレーディング時にN-Logに適用するためにニコンが開発した3D LUTです。

N-Logガンマを使用して撮影された素材は広い階調を保って記録されますが、そのまま再生するとコントラストが低いように見えてしまいます。カラーグレーディング時に3D LUTを使用することで、Rec.709の表示に対応したモニターで美しく見ることができるよう映像に仕上がります。



N-Log 用 3D LUT 適用前の素材



N-Log 用 3D LUT 適用後

■ N-Log 用 3D LUT を適用するには

カラーグレーディングを行うには対応する他社製の動画編集用ソフトウェアが必要です。

本書では Blackmagic Design 社の DaVinci Resolve 18 を使用して N-Log 用 3D LUT を適用する方法を紹介します。

N-Log 用 3D LUT を適用できるアプリケーションについて

DaVinci Resolve 以外に次のアプリケーションでも N-Log 用 3D LUT を適用できます。

- Adobe : Premiere Pro
- Apple : Final Cut Pro X

※ニコンが推奨または動作を保証するものではありません。

各アプリケーションの使用方法については各メーカーにお問い合わせください。

N-Log 用 3D LUT を適用する手順

● DaVinci Resolve のインストール

本書では Blackmagic Design 社の DaVinci Resolve を使用します。下記の URL からアプリケーションをダウンロードし、インストールしてください。

<https://www.blackmagicdesign.com/jp/products/davinciresolve/>

※ URL は 2023 年 5 月現在の情報です。

● N-Log 用 3D LUT のダウンロード

N-Log 用 3D LUT はニコンダウンロードセンターで公開されています。あらかじめ下記の URL からダウンロードしてください。

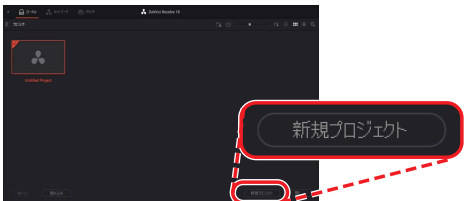
<https://downloadcenter.nikonimglib.com/>

● N-Log 用 3D LUT を適用するには

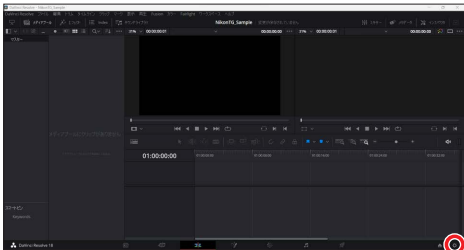
適用手順は、2023 年 5 月現在の情報です。

1 DaVinci Resolve 18 を起動して新規プロジェクトを作成する

Project Manager 画面で[新規プロジェクト]をクリックし、任意の名前をつけたプロジェクトを作成してください。

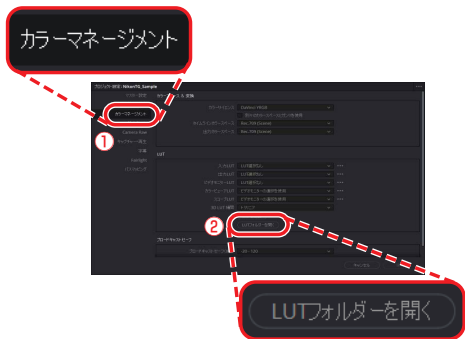


2 [プロジェクト設定] アイコン ⚙️ をクリックする



N-Log 用 3D LUT を適用する手順

- 3** プロジェクト設定ダイアログで [カラーマネージメント] を選び、[LUT フォルダーを開く] をクリックする



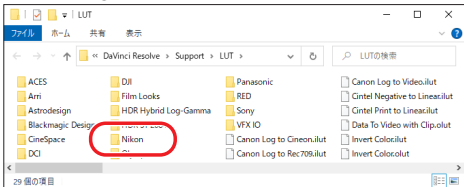
DaVinci Resolve 18のLUTフォルダーが開きます。LUTフォルダーの場所はOSによって異なります。

- **Windows** :
C:\ProgramData\Blackmagic Design\DaVinci Resolve\Support\LUT
- **macOS** :
Library/Application Support/Blackmagic Design/DaVinci Resolve/LUT/

4

LUT フォルダーに任意のフォルダーを作成し、N-Log 用 3D LUT をコピーする

ここでは「Nikon」フォルダーを作成し、その中にダウンロードした N-Log 用 3D LUT をコピーしています。



5

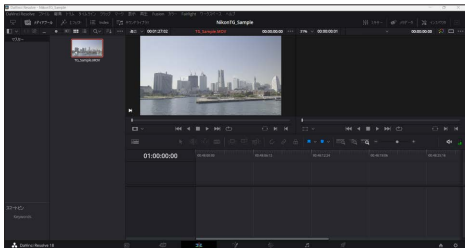
[リストを更新] をクリックしてから [保存] をクリックする



手順 4 で追加した LUT が読み込まれます。

N-Log 用 3D LUT を適用する手順

6 N-Log の動画素材を読み込む



DaVinci Resolve 18 のウィンドウに OS から N-Log 動画素材をドラッグアンドドロップすると、動画が読み込まれます。

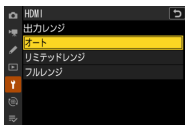


読み込んだ動画のフレームレートがプロジェクトと一致していない場合、ダイアログが表示されます。**[変更]** をクリックして、読み込んだ素材のフレームレートに合わせてください。

7

動画素材の出力レンジとデータレベルを合わせる

HDMI に対応した外部レコーダーを使用して動画素材を撮影する場合、カメラのセットアップメニュー [HDMI] の [出力レンジ] で設定した出力レンジと、DaVinci Resolve 18 の [データレベル] の設定が合っていることを確認してください。



DaVinci Resolve 18 では、メディアプールにある素材のサムネイルを右クリックして [クリップ属性] を選び、表示されるダイアログの [データレベル] で確認できます。カメラで [リミテッドレンジ] が選ばれていた場合は [ビデオ]、[フルレンジ] が選ばれていた場合は [フル] になっていることを確認し、もし異なっていた場合は選び直してください。

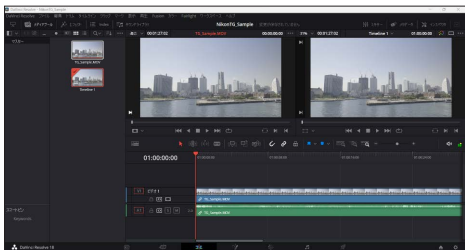
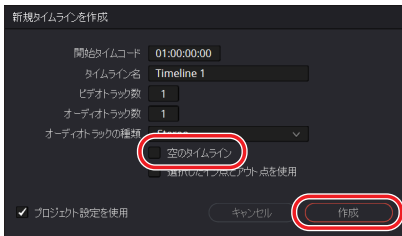


N-Log 用 3D LUT を適用する手順

8


タイムラインを作成する

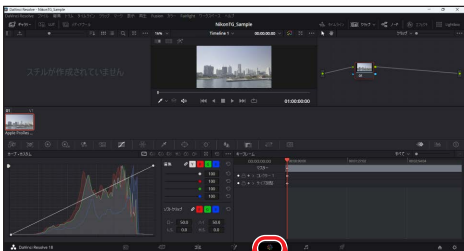
【ファイル】メニューの【新規タイムライン】を選びます。表示されたダイアログで【空のタイムライン】のチェックを外し、【作成】をクリックすると、タイムラインが作成されます。



9

カラーページを表示する

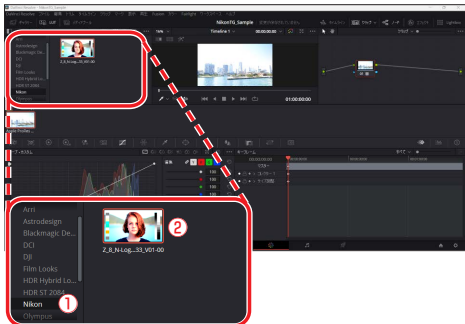
ウィンドウ下にある [カラー] ボタン  をクリックして、画面をカラーページに切り換えます。



N-Log 用 3D LUT を適用する手順

10 N-Log 用 3D LUT を適用する

ウィンドウ左上にある [LUT] ブラウザで、手順4で追加したフォルダ名を選んで N-Log 用 3D LUT をダブルクリックすると、LUT が適用されます。



LUT 適用後の調整方法などについては、DaVinci Resolve のヘルプや Blackmagic Design 社の公式ページなどをご覧ください。